

## マストトップに浮力体を取り付けてよい

### クラス規則変更にあたる理由

クラス規則第Ⅱ部(Part II)前文で、“The rules in Part II are closed class rules.”と定められています。Closed Class Ruleとは、「クラス規則で明確に認められていないものすべてを禁止しているクラス規則」です。(ERS C.2.2)

クラス規則中に、マストトップへの浮力体とりつけを許可する条項はありません。よって、浮力体とりつけは、クラス規則により禁止されています。ですから、「マストトップに浮力体を取りつけてよい」と規定することは、クラス規則変更にあたります。

### 浮力体取り付けにあたって、考慮すべき危険性

マストが海底に刺さらないような深い海面で、完沈を防ぐ目的でマストトップに浮力体を取り付けることは、沈起しを容易にする一方で、危険性も併せ持っています。半沈状態は、完沈している場合と比べ、速く風に流されます。このため、強風下で乗員が船から離れてしまった場合に追いつけない、沈を起こせないまま漂流したときにより遠くまで流されるなどの危険性があります。

浮力体取り付けに伴う潜在的な危険性を理解のうえで、海面の状況、参加者のレベル、救助体制などを考慮し、浮力体とりつけ許可の是非を判断してください。

また、取り付けを許可する場合、取り付けた場合の危険性について、選手への注意を呼びかけることを推奨します。

## クラス規則を変更するー帆走指示書でマストトップへの浮力体取り付けを許可するー

“変更への同意”の取得申請のために、以下の3点をメールでご連絡ください。

- ①大会名
- ②大会期間
- ③危険性を考慮したうえでも、マストトップへの浮力体とりつけ許可が必要な理由（レース海面が浅く、初心者の参加が多いなど）。